

元気に参加する小学生(平笠裸参り)



寒風突き祈り込め歩む

平笠裸参り・寄木裸参り

市指定無形文化財の平笠裸参りが1月8日に行われ、平笠小の子どもたち14人を含む約30人が、白装束に身を包み、宮田神社から八坂神社までの約8キロを練り歩きました。

平笠裸参りは、江戸時代に岩手山噴火の鎮静化を祈願して行われたのが始まりと伝えられ、戦時中は、主婦たちが夫や息子の武運を祈って実施。女性の荒行として全国的にも注目されています。参加者は、無病息災や東日本大震災からの早期復興を願いながら、歩みを進めていました。

1月16日、寄木小の子どもたち3人を含む17人が参加し、寄木裸参りが行われました。

寄木裸参りは、松尾寄木の地域全域から参加することを期待し、出発を北寄木、南寄木、新田の持ち回りにしており、ことしは南寄木分館が出发点。参加者は、天照皇大神宮までの道のり約1キロを家内安全、五穀豊穰などを祈って練り歩きました。同日、境内では正月飾りを燃やす「どんど焼き」も行われ、地域住民の皆さんが集まって、ことし一年の健康などを祈願していました。



雄大な岩手山が姿を現す中練り歩きました(寄木裸参り)

楽しみながら技術学ぶ

みんなのスキー教室

小学生を対象とする「みんなのスキー教室」が1月5日から7日までの3日間、八幡平パノラマスキー場で開催されました。

教室には、西根・松尾地区の小学3年生から6年生までの児童30人が参加。6班に分かれて、それぞれの技量に合ったレッスンを受けました。昨年に引き続き参加した戸来綾美さん(田頭小5年)は「3日間、違った天気の中でスキーができて楽しかった」と、満足げな表情で練習を振り返りました。



先頭の講師に見守られながら滑走(1月7日)

新庁舎前で初の出初式

平成27年市消防出初式

市消防出初式が1月3日、市役所庁舎前で開かれました。

式には、市消防団員や婦人消防協力隊員ら約500人が参加。消防車両41台と共に、市道南北線を市役所前まで分列行進しました。その後、市役所前で式典が行われ、統監の田村正彦市長が「団員の皆さんそれぞれ仕事をしながらの活動に感謝している。今後とも防災に努めてほしい」とあいさつし、参加者全員で地域防災の強化を誓い、万歳三唱を行いました。



威風堂々の分列行進を披露する市消防団員



隊員全員が警笛を吹き、装備を点検

事故・犯罪防止を誓う

平成27年市交通指導隊・防犯隊初点検

市交通指導隊・市防犯隊の合同初点検が1月11日、市役所多目的ホール棟で行われました。

初点検には、両隊の隊員や関係者ら約80人が出席。岡田久副市長が観閲を行ったほか、地区隊長が手帳や警笛などの装備品を点検しました。続いて、両隊を代表して市防犯隊の館柳勝彦隊長が「現在の実態に即した啓発活動を行い、交通事故や犯罪の防止に一層力を尽くしたい」と宣誓し、安全・安心のまちづくりに向けて、決意を新たにしました。

地域のために除雪活動

平成26年度安代地区スノーバスターズ

安代地区スノーバスターズ活動出発式が1月11日、安代福祉センターで行われました。

式には、ボランティアや安代中学校の生徒ら約40人が出席。主催者の市社会福祉協議会の伊藤昇会長が「生活のため、地域で互いに協力し合うことから始まった活動。事故やけがに気を付け、安全に作業してほしい」と、あいさつしました。終了後、隊員たちは、一人暮らしの高齢者の家などを訪問し、声掛けをしながら、除雪作業に汗を流しました。



スコップやスノーダンプで軒先を除雪

すなっぷギャラリー



白熱した試合が繰り広げられた平成27年鏡開き柔道大会(1月11日、寺田柔剣道場)



歩道沿いに幻想的な明かりがともった「わせき紙袋ランタンフェスティバル」(1月25日、上関地内)



寄木保育所の園児約30人が昨年9月に自ら定植したイチゴを収穫(1月8日、サラダファーム)



松野保育所の園児32人が「防災とボランティア週間」のイベントを訪問(1月15日、市役所結のひろば)



平館高校生徒5人が海外研修出発前に抱負を語りました(12月26日、市役所本庁舎)